

学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』 2013年度新卒採用 就職・採用活動 12月度調査報告

エン・ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二)が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』(<http://gakusei.en-japan.com/>)は、2013年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2013年度新卒採用 就職・採用活動アンケート』を実施いたしましたので、以下、概要をご報告いたします。

**企業の採用基準は「主体的・積極的に行動できる」がトップ
学生が想像する企業の採用基準も「主体的・積極的に行動できる」
一方、学生が選考でアピールしたいポイントは「他者と協調できる」**

【注目動向①】>>現在の就職・採用活動の状況】

●<学生>現在の悩みは、「漠然とした不安や焦り(19.7%)」(図1) (コメント1)

1人当たりのエントリー社数は前年比64%減の20.8社 (図2) (図3) (図4) (図5)

⇒学生の現在の悩みは、「漠然とした不安や焦り(19.7%)」、「何から手をつけていいか分からない(14.7%)」「エントリーシート(11.5%)」が上位となりました。前月と比較すると「何から手をつけていいか分からない」は減少し、「エントリーシート」の悩みが増加しました。就職活動の行動量については「エントリー社数(20.8社)」、「エントリーシート提出社数(0.6社)」、「企業セミナー予約社数(1.6社)」、「企業セミナー参加社数(0.5社)」といずれも前年を下回っています。

●<企業>現在の悩みは、「母集団形成(34.5%)」(図6) (コメント2)

現時点での母集団状況、「想定より大幅に少ない」または「想定より少ない」が前年より10%以上増加 (図7) (図8) (図9) (図10)

⇒企業の現在の悩みは、「母集団形成(34.5%)」がトップで、前月と大きな変化はありませんでした。また、現時点での母集団状況について、「想定より大幅に少ない」または「想定より少ない」と回答した企業が、前年比では12.3%、昨年グランドオープン月対比では10.5%増加しました。サイトのオープンが12月に後ろ倒しになった影響で、各社母集団形成に苦労しているようです。

【注目動向②】>>企業の採用基準・学生のアピールポイント】

●企業の採用基準は「主体的・積極的に行動できる」がトップ

学生が選考でアピールしたいポイントは「他者と協調することができる」(図11) (図12)

⇒“学生が想像する、企業の採用基準”、“企業の採用基準”ともに「主体的・積極的に行動できる」がトップとなりました。一方で、学生が“選考でもっともアピールしたいポイント”は「他者と協調することができる」、「継続性がある」が上位となりました。“学生が想像する、企業の採用基準”と“企業の採用基準”は合っているものの、実際に学生がアピールしたいポイントとギャップが見られる結果となりました。

【注目動向③】>>職業観・人財観】

● 学生のキャリアに対する考え方、

30代以降は「仕事よりプライベート優先」あるいは「バランスのとれた働き方」を志向 (図13) (コメント3)

⇒働き方のイメージについて、20代の働き方は、「プライベートよりも仕事を優先している」が、男性は47.6%、女性は38.7%となりました。次いで、「仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている」が男性43.7%、女性57%でした。

30代以降になると、「プライベートよりも仕事を優先している」との回答は男女ともに大幅にポイントを下げ、「仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている」、または「仕事よりもプライベートを優先している」が男女ともに8割前後となりました。

● 一人前になるまでの期間、理想は平均3年、実際は平均3.6年 (図14) (図15) (コメント4)

⇒一人前になるまでの期間については、理想では平均3年と考えているものの、実際には平均3.6年かかっているようです。一人前になるまでの期間が長期化している要因としては、本人の問題とともに受け入れ側の問題もあげられました。

■ 本ニュースリリースに関する問合せ先

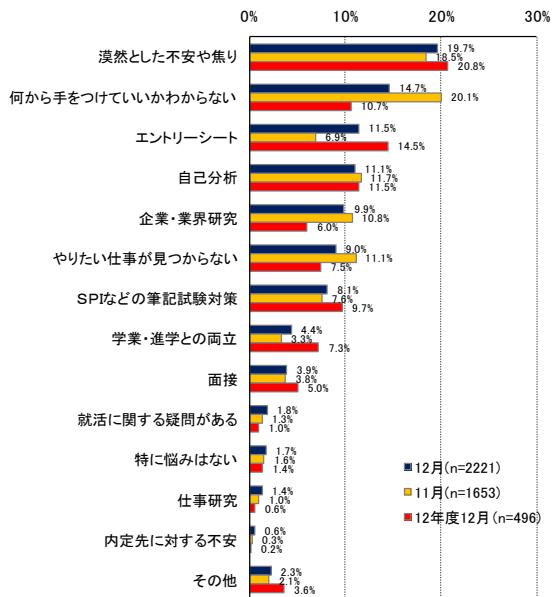
エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原

〒163-1324新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL 03-3342-4506 FAX 03-3342-4507 MAIL en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図1: 現在の悩み<学生調査>】



【コメント1: 現在の悩み(理由)<学生調査>】

<漠然とした不安や焦り>

●例年より2ヶ月遅れでエントリーが始まった今年、自分のやっていることはあっていいのか、きちんとやりたいことを見つけることができて、内定をもらうことができるのかが不安です。(文系／女性)

●興味・関心がある業種の会社という大きなくくりだけでエントリーしていくのか、不安になります。(文系／女性)

<何から手をつけていいかわからない>

●エントリーをしなければ遅れるのが分かっているが、どこの企業をエントリーしていくか分からない。また、自己分析や企業研究、面接対策を今までしてこなかったので、周りより遅れているのが分かり、不安になる。(文系／女性)

<エントリーシート>

●学生時代に頑張ったことが思い浮かばなくて困っている。(理系／女性)

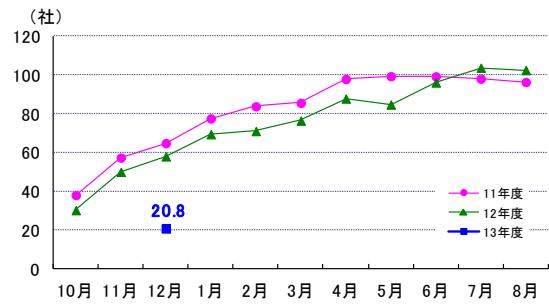
●相手に伝わる様な書き方がわからない。(文系／男性)

<自己分析>

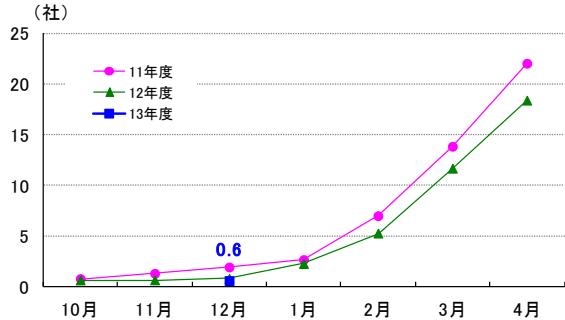
●就活が始まってから毎日が発見の連続で、それが新鮮で嬉しくもあり、また新たに知る自分の内側に気付き戸惑いを覚えることもあります。その都度自分がどのような人間であるか、常に自問自答していく作業(特に自分の嫌いな部分が露呈した瞬間)は時々苦痛に感じます。(文系／男性)

●自分がこれからどんな仕事をしていかといかわかっていないし、アピールポイントや大学生になって何に力を入れて来たかもわかつておらず、今とても不安です。(文系／男性)

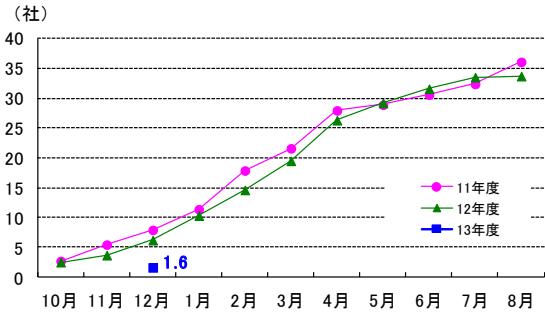
【図2: エントリー社数<学生調査>※1】



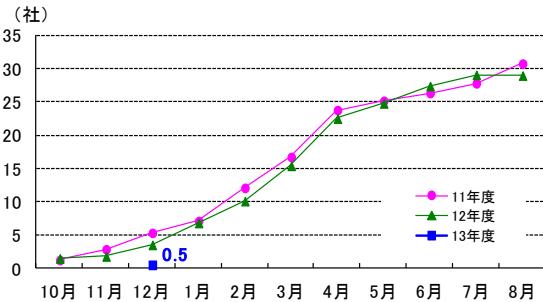
【図3: エントリーシート提出社数<学生調査>※1】



【図4: 企業セミナー予約社数<学生調査>※1】



【図5: 企業セミナー参加社数<学生調査>※1】



※1 調査期間 13年度:(12月5日～12月13日) 12年度:(12月3日～12月13日) 11年度:(12月11日～12月21日)

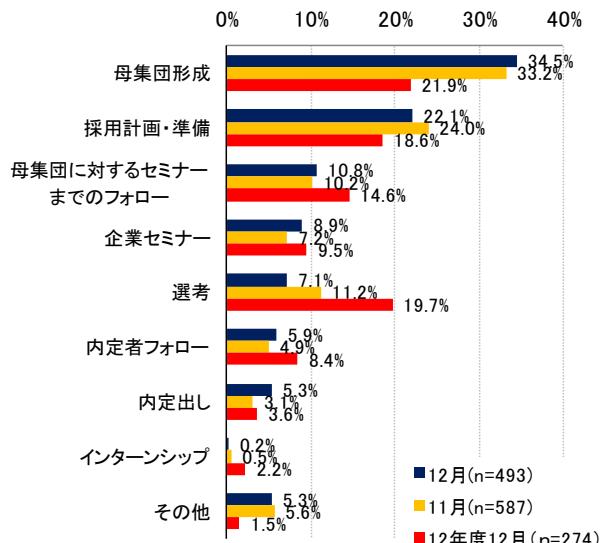
【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原

TEL:03-3342-4506 FAX:03-3342-4507 MAIL:en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図6: 現在の悩み<企業調査>】



【コメント2: 現在の悩み(理由)<企業調査>】

<母集団形成>

●報道にもあるように、学生の応募が大手集中に向いている事により、就職サイトのプレントリーは前年度比50%とエントリーの伸びは大きく減少している。採用数も減少している事から予算も限られている中で、一番の課題は母集団形成だと考える。(メーカー／300名～1000名／近畿)

<採用計画・準備>

●最良の選考手順と方法は何か、いつも迷う。リクルーター、面接担当官のレベルアップも課題。(商社／300名未満／関東)

<母集団に対するセミナーまでのフォロー>

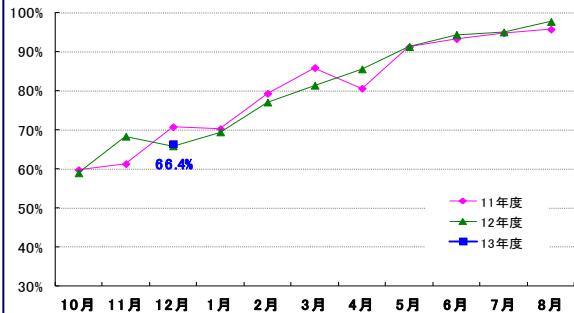
●昨年、母集団はおおむね期待通りの集客ができたが、セミナー参加者数が期待値に大幅に届かなかった。(サービス／300名未満／東海)

<選考>

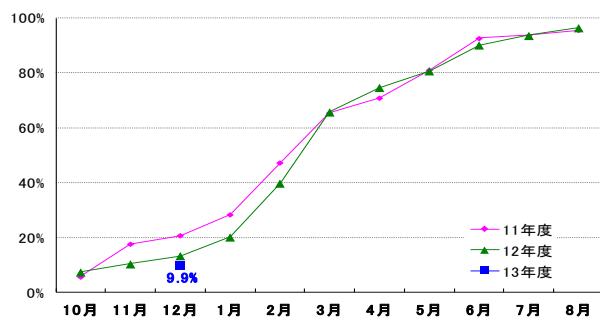
●自社の求める学生像にマッチングする方は例年減っているように感じるので、選考で学生を「育てる」カタチに移行する必要性を感じています。(サービス／300名未満／関東)

●今期は選考に「実技」を入れる予定。今までの筆記試験、面接、グループディスカッションでは見えない「動」の部分を見極める選考にしたいが具体的なスケジュールが出来ていない。(流通・小売／300～1000名／九州・沖縄)

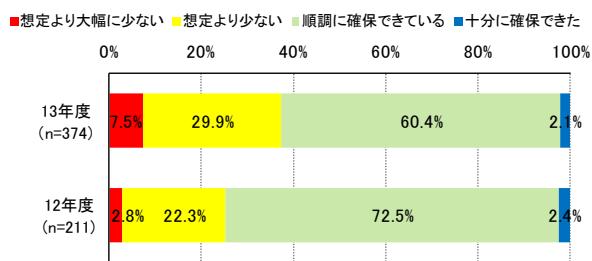
【図7: エントリー受付開始率<企業調査>※1】



【図8: セミナー開始率<企業調査>※1】

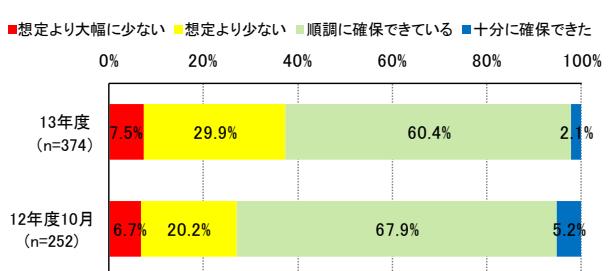


【図9: 母集団形成状況<前年比><企業調査>※1】



※1 調査期間 13年度:(12月5日～12月13日) 12年度:(12月3日～12月13日) 11年度:(12月11日～12月21日)

【図10: 母集団形成状況<前年グランドオープン月対比><企業調査>※1】



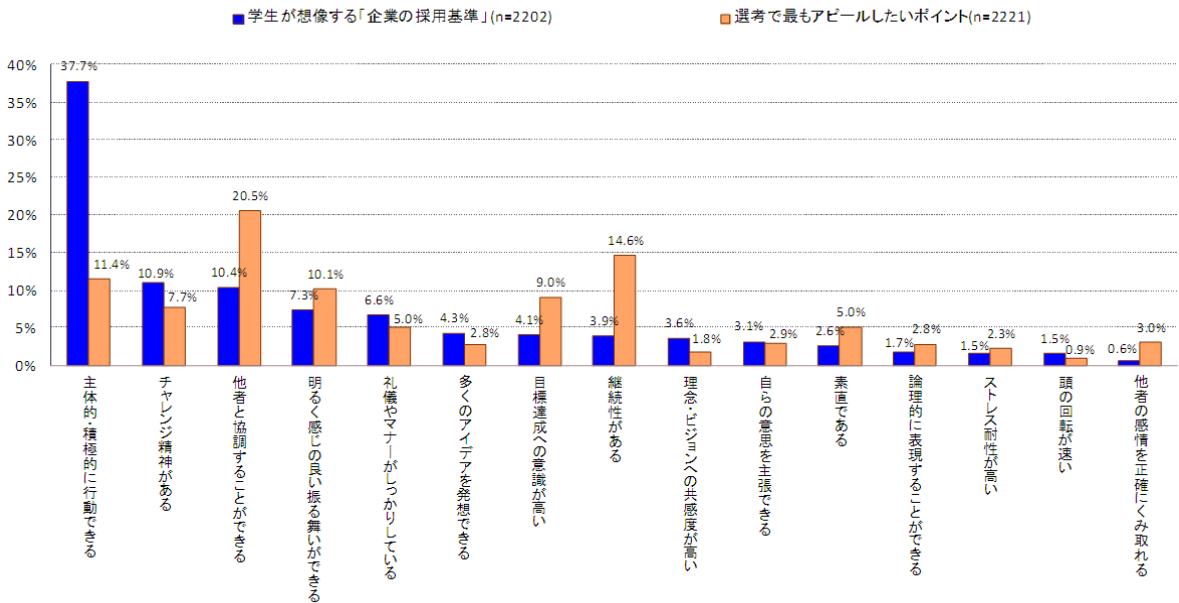
【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原

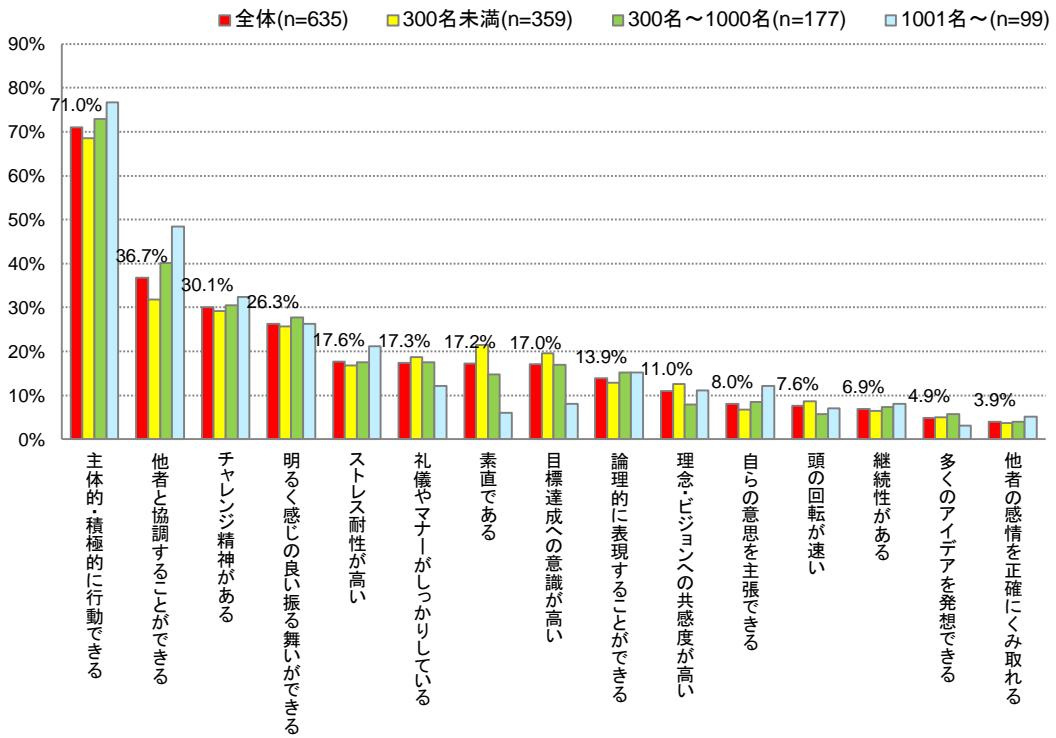
TEL:03-3342-4506 FAX:03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図11: 学生が想像する、企業の採用基準／アピールしたいポイント<学生調査>】



【図12: 自社の採用基準(企業規模別) <企業調査>】※3つまで選択



【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原

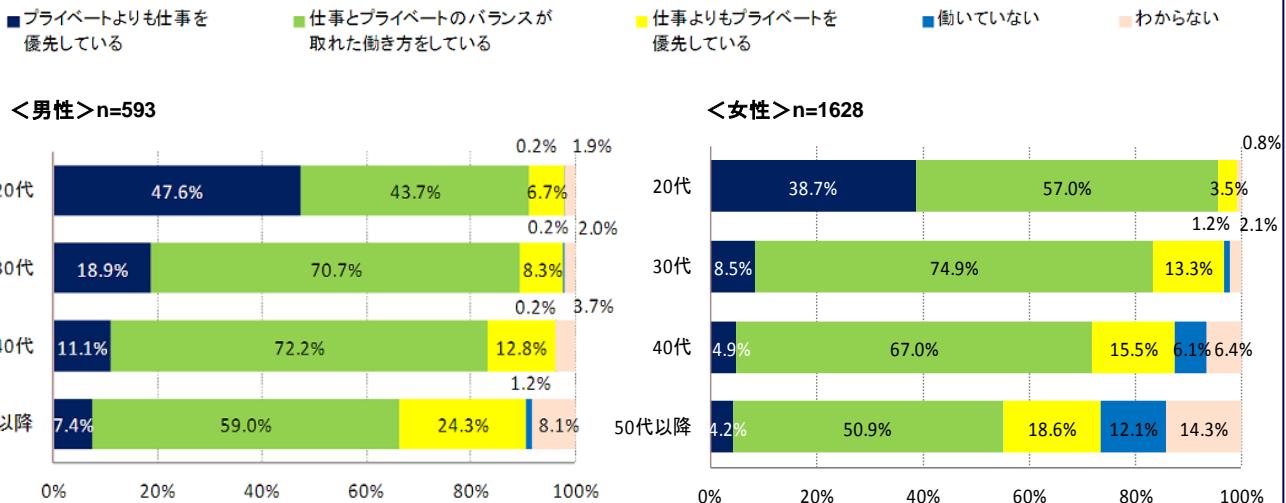
TEL:03-3342-4506

FAX:03-3342-4507

MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図13: 働き方のイメージ<学生調査>】



【コメント3: 働き方のイメージ(理由)<学生調査>】

- まず若いうちに自分を鍛えておかないと将来は力を発揮することができないと考えているのでバリバリ働く必要があると考えています。その後力が付けば自ずと時間に余裕ができ、自分の時間もつくれるのではと思います。([20代]プライベートよりも仕事を優先している [30代] [40代]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている [50代以降]仕事よりもプライベートを優先している/文系/男性)
- 20~30代の内は「自己成長」をテーマとして、仕事を多くこなし早い段階での一人前を目指したいと思っています。それが入社させてくださった企業側への恩返しにもなりますし、社会への貢献にもつながると思います。さらに言えば仕事を多くこなしていくことで、それに対する成果が帰ってきます。その成果が自分自身のモチベーション維持に役立つと思います。将来は「仕事は趣味だ」と言えるくらい自分の体・精神に仕事を刻みつけたいです。若いうちに「仕事=プライベート」という形を作つておけば自ずと40~50代は仕事とプライベートの両立という形になってくると思います。家族という存在もできていると思うのでそれと仕事を上手く両立させて行けたら良いなと考えています。([20代] [30代]プライベートよりも仕事を優先している [40代] [50代以降]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている/理系/男性)
- これからの厳しい社会を乗り切る為には、若いうちから楽をせず、一生懸命仕事に励み、自分を鍛え上げることが必要だと思うから。([20代] [30代]プライベートよりも仕事を優先している [40代] [50代以降]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている/理系/男性)
- はじめ仕事に慣れるまではプライベートよりも仕事を優先して、余裕が出来てくるようになら、プライベートの空いた時間でスキルアップのための勉強や趣味に時間を使っていきたいです。([20代]プライベートよりも仕事を優先している [30代] [40代] [50代以降]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている/文系/男性)
- 仕事もプライベートもバランス良くできるようにしていかないと私の場合うまくいかないと思います。仕事ばかりだとたとえ楽しい仕事だとしてもストレスはたまってしまうと思いますし、プライベートばかりだと怠けすぎたりして仕事にも日常生活にも悪い影響が出てしまうと思ったからです。([20代] [30代] [40代] [50代以降]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている/理系/男性)
- 若いうちにしかない、もしくは伸びせない体力、気力があると思うので30代までは仕事を頑張りたいが、40代には結婚、出産をしていると思うので家庭も大切にしたい。50代には子供に手もかからなくなってくるだろうし、自分は経営にはあまり関心がないので、プライベートも大事にしつつ、会社に貢献する人材になっていきたい。([20代] [30代]プライベートよりも仕事を優先している [40代]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている [50代以降]仕事よりもプライベートを優先している/文系/女性)
- 生涯を通して言えることだが、ワークライフバランスは常に意識していきたいと思う。どちらがかけてしまても人生において充実はないと思う。家庭があるから、プライベートがあるからこそ仕事を頑張ろうと思えると思う。これは逆もまた然りである。両方が充実して初めて本当の幸せがあると思うので、仕事とプライベートのバランスは意識していきたい。([20代] [30代] [40代] [50代以降]仕事とプライベートのバランスが取れた働き方をしている/文系/男性)
- プライベートを充実させる為に仕事をする、と私は考えています。現に、仕事、仕事でプライベートもなくずっと働いている人は見ていて生きていて楽しそうに見えないです。([20代] [30代] [40代] [50代以降]仕事よりもプライベートを優先している/理系/男性)

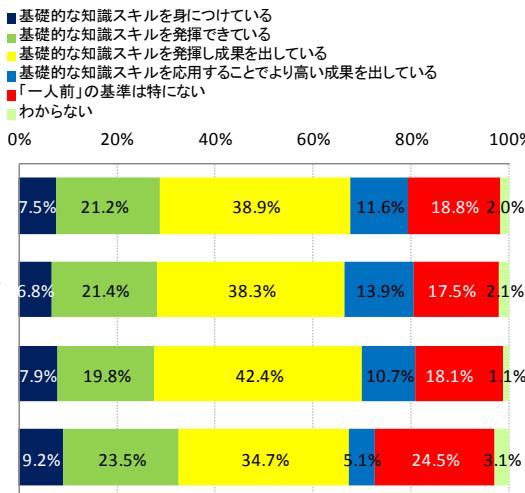
【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当:矢元・大原

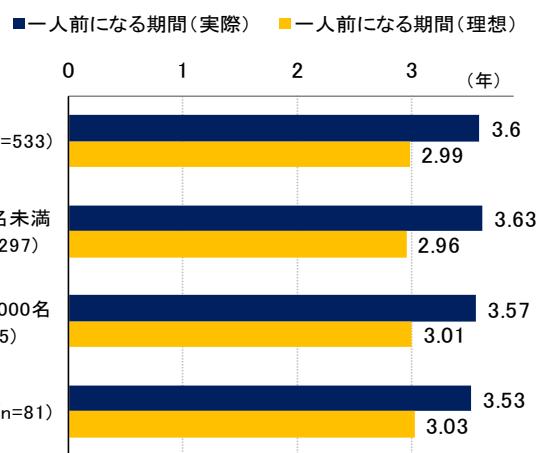
TEL:03-3342-4506 FAX:03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com

アンケート結果(抜粋)

【図14: 一人前の定義<企業調査>】



【図15: 一人前になるまでの期間<企業調査>】



【コメント1: 理想よりも期間がかかっている理由】※①実際の期間 ②理想的の期間 <企業調査>】

- 最近の学生の姿勢、性格・考え方の変化。ゆとり教育の弊害を感じている。(①4年 ②3年／メーカー／300名未満／関東)
- チャンスを先輩が与えていない。チャンスを若手が積極的にとりに行かない。会社が定めた力量に対して、先輩・後輩がワンランク上を目指してくれない。(①4年 ②2年／情報・通信／300名未満／関東)
- 本人のモチベーション低下や、指導役の「教えるスキル」不足がある場合がある。(①3年 ②2年／サービス／300名～1000名／関東)
- 新入社員のポテンシャルについては、問題を感じていない。会社の受け入れ体制に課題点があると感じている。教育、研修プログラムやOJTの見直しなど、今一度取り組んでいきたい。(①2年 ②1年／情報・通信／300名未満／関東)
- 対人関係の構築、特に直接的な対人関係が得意な者は早く成長し、苦手な者の成長は遅くなるからです。人と接することが仕事のほとんどが職場では大切なスキルです。(①3年 ②2年／その他／300名～1000名／関東)
- 2年目や3年目になると、悪い意味で仕事に慣れてしまう社員もあり、成長スピードを減速させている。また、止まってしまっている。(①7年 ②5年／情報・通信／300名未満／関東)

【その他の調査項目】※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

<学生調査> ・就活対策 ・現在の志望業界 ・来月の活動内容 ・キャリアに対する考え方
<企業調査> ・企業の採用基準 ・来月の活動内容

調査概要

<学生調査>

対象: 「[en]学生の就職情報2013」に登録するモニター学生

期間: 2011年12月5日～12月13日

方法: E-mailによるWEB投票画面の配信

有効回答数: 2,221名

<企業調査>

対象: 「[en]学生の就職情報パートナーズNEWS」登録企業

期間: 2011年12月5日～12月13日

方法: E-mailによるWEB投票画面の配信

有効回答数: 635件

※一般財団法人 エン人財教育センター調べ

【[en]学生の就職情報について】 <http://gakusei.enjapan.com/>

大学生・大学院生・短大生・専門学生を対象とした、力のある中堅・中小・ベンチャー企業に特化した求人情報を掲載している学生向け就職情報サイト。イメージ先行の就職活動を行いがちな学生に対し、規模や知名度では計り知れない企業の「力」を5つの「力」の項目で紹介し、仕事理解を深めます。

【エン・ジャパン株式会社】 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパンは、前身である株式会社日本ブレーンセンターとして、1995年にインターネットを利用した総合転職情報サイトの運営を開始しました。転職情報サイト「[en]社会人の転職情報」を展開しながら、転職者には「転職は慎重に。」と訴え、安易な転職を勧めず、求人企業に対しても慎重な採用を求めるなど、「独自性」「社会正義性」という考え方のもと、サイト運営を行っています。転職情報サイトの他、派遣会社の集合サイト「[en]派遣のお仕事情報」など、正社員・派遣社員・新卒・アルバイトの各種求人情報サイトを展開し、求職者と求人企業のベストマッチングを実現しています。また、「人」、そして「企業」の縁を考える。』という事業理念に基づき、2009年12月にオープンした結婚式情報サイト「エン・ウエディング」をはじめとした新規事業を積極的に展開しています。

【報道関係者各位のお問合せ先】

エン・ジャパン株式会社 広報担当: 矢元・大原

TEL: 03-3342-4506 FAX: 03-3342-4507 MAIL: en-press@en-japan.com